

中小企業の求人 勝ち筋がここにある

動画求人プロデューサー
前川正人

(合同会社 爽 代表社員)

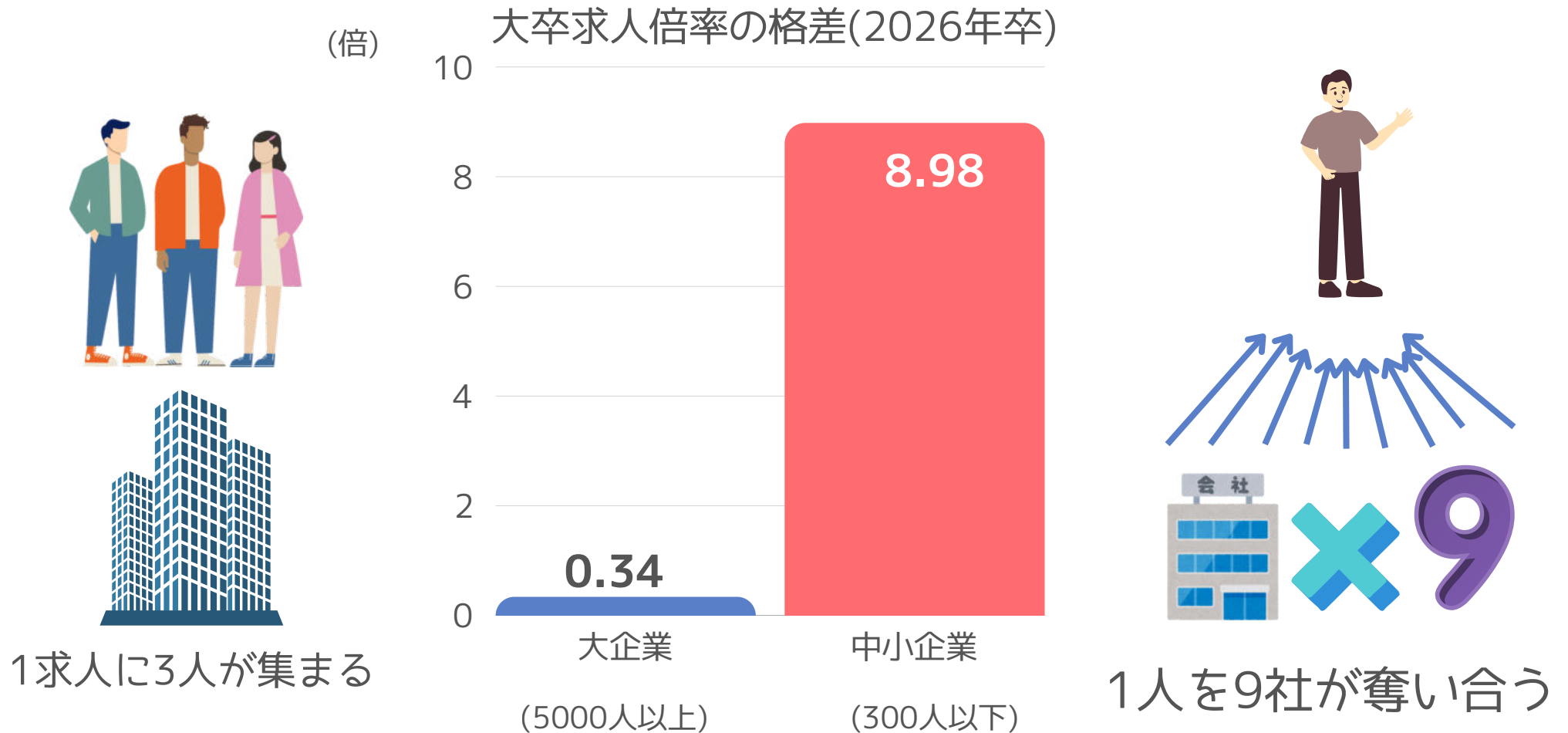
〒564-0039 大阪府吹田市清和園町2-3-101

E-mail : masato@maekawa.com

Website : <https://maekawa.com>



いま、中小企業は**新卒採用**が絶望的！



いま、中小企業では、新卒採用というのが不可能に近い状況になっています。
大卒の場合、求人倍率がおおよそ9倍。これはひとりを9社で奪い合うような状況です。

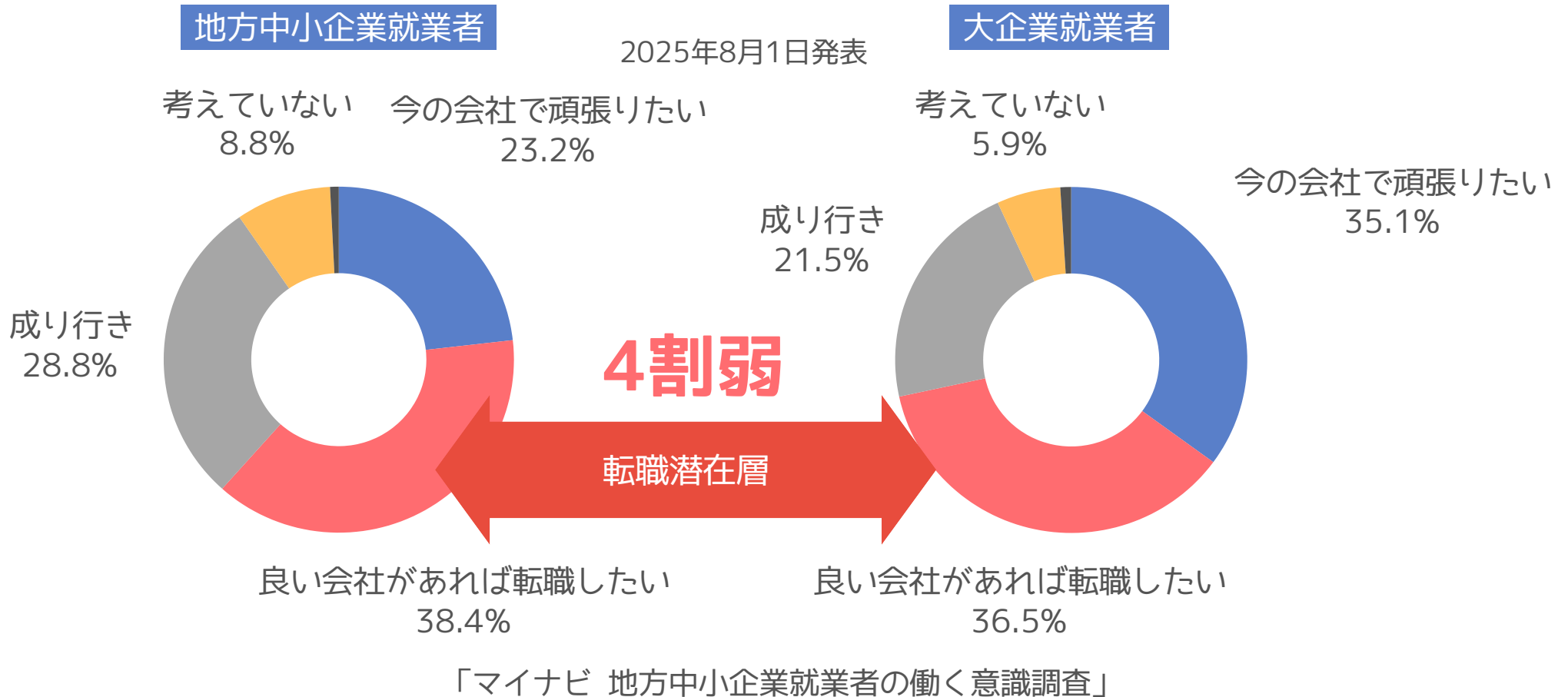
正規雇用者の中にも「転職希望者」がいる

いい会社があったら
転職したい……



しかし、目を転職市場に向けてみると、若い人材の転職というのが目立ってきています。どこかの会社で働いていても、「いい会社があったら転職したい」と思っている人がたくさんいる、ということです。

転職希望者は4割弱もいる



転職希望者は、この調査では、ほぼ4割弱。30数%もいます。
この割合は地方の中小企業で働いている人も、大企業でも、さほど変わりません。
この人々は、今の仕事に何かしら不満や不安を持っている、ということです。

転職希望者は何人いるのか？

転職を希望している正規雇用者

約577万人

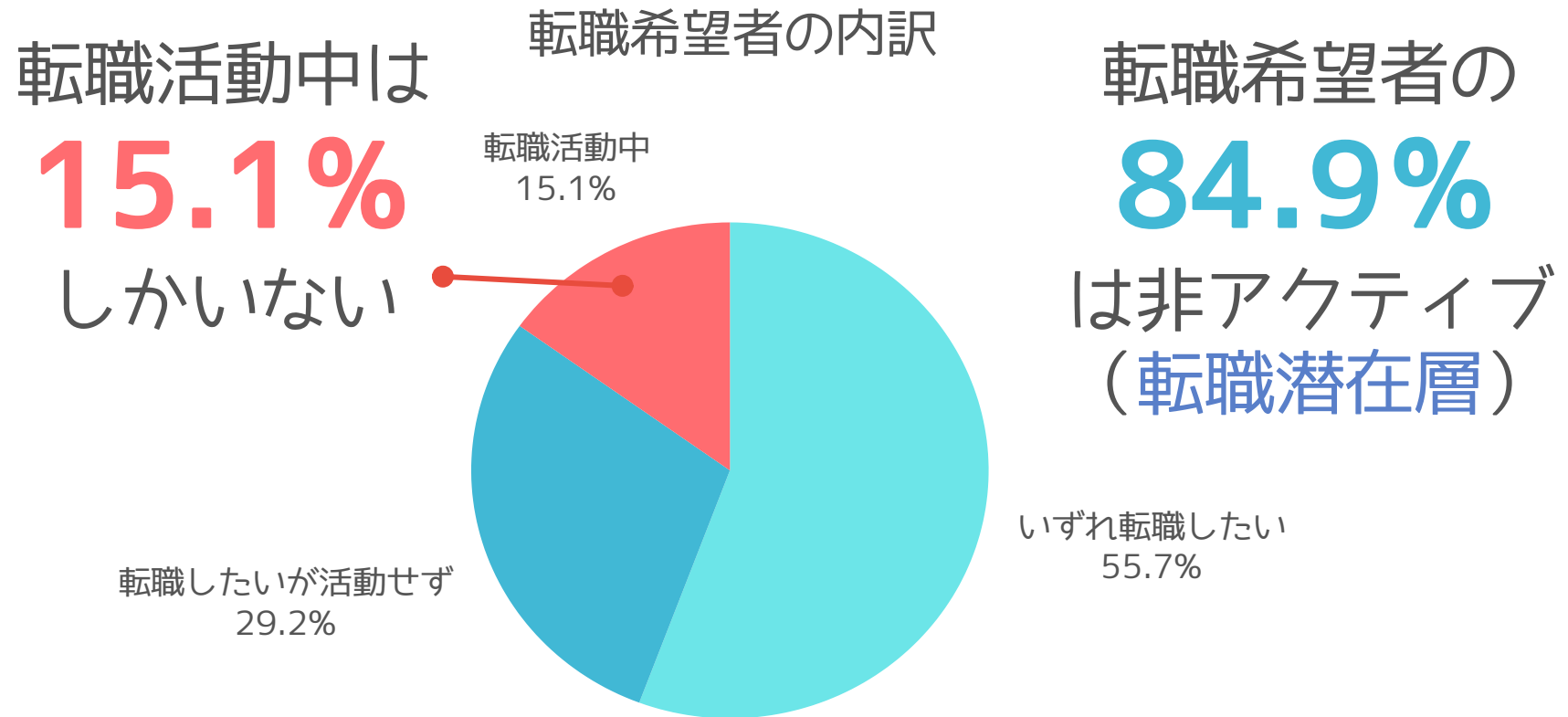
10年前の約2倍

日本総合研究所「活性化する転職市場の現状と経済への影響」(2024年6月)より



転職希望者の数はこの調査では、全国でおよそ577万人もいる、とされます。
これは、10年前にくらべて倍に増えています。
この数字は正規雇用者の場合ですので、非正規も含めるともっとたくさんの人が
転職を希望していることになります。

でも、**転職活動しているのはわずか15%**

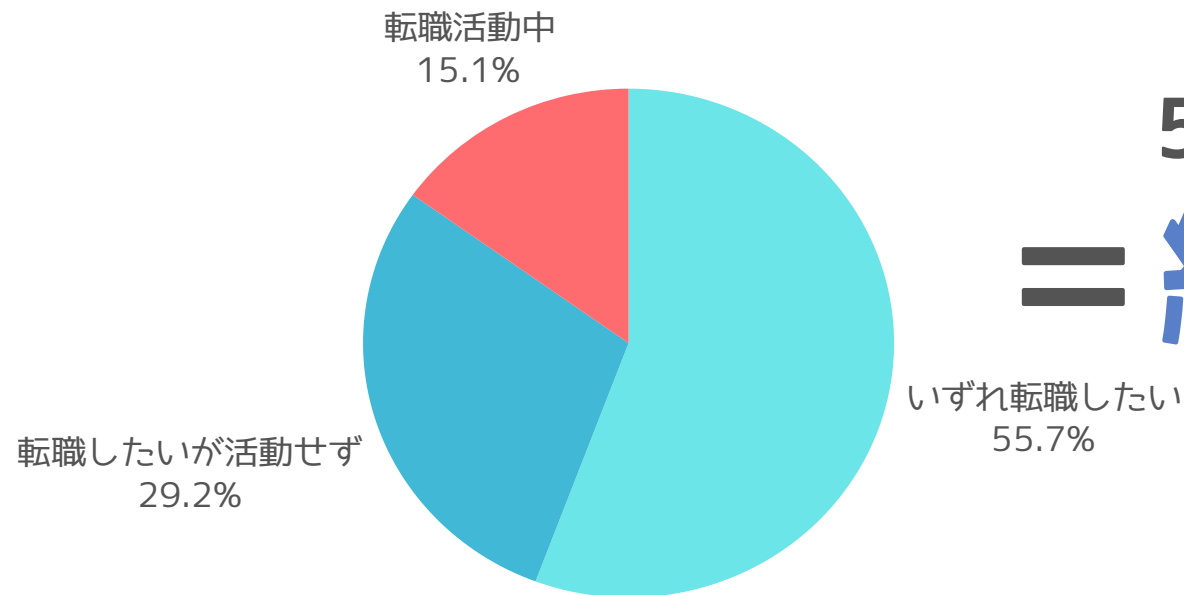


リクルートワークス研究所「なぜ転職したいのに転職しないのか
—転職の“都市伝説”を検証する—」2023年10月19日

しかし、転職希望者のすべてが、積極的に転職活動をしているわけではありません。
この調査では、転職活動中の人は、わずか15%しかないという結果です。
残りの85%の人は、転職の希望は持っているが、積極的な転職活動をしていない。
つまり「転職潜在層」だということができます。

ほとんどが求人媒体などを見ない転職潜在層

転職希望者の内訳



転職潜在層
の数は(推定)
577万人× 84.9%
= **約490万人**

この転職潜在層の数を推定してみると、およそ490万人もいると考えられます。
これら転職潜在層は、転職エージェントなどには登録しておらず、毎日求人媒体を
閲覧するようなこともしていないと思われます。

転職潜在層とはどこで出会えるか？

彼らと出会えるのは

SNS

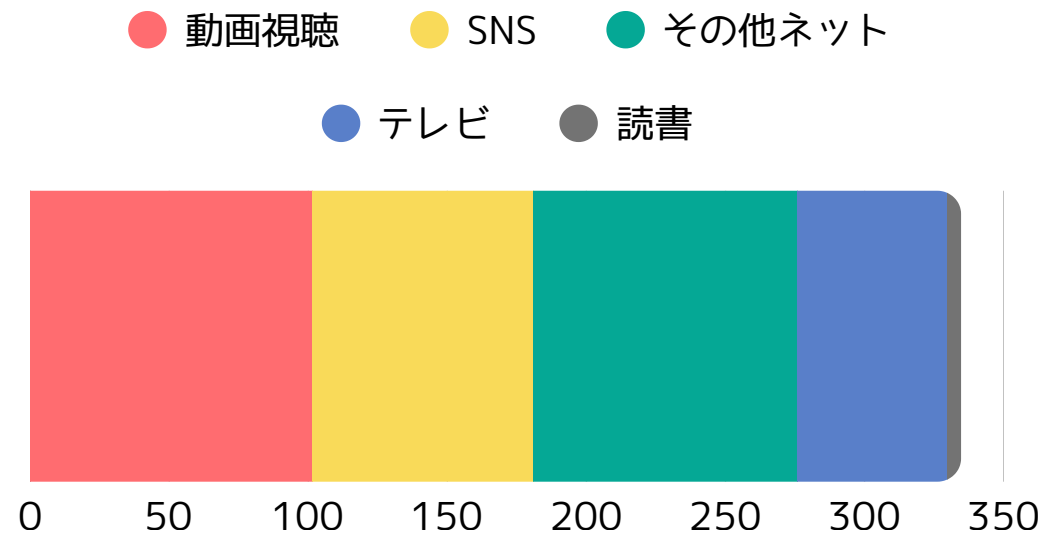


この転職潜在層にどこで出会えるかという、考えられるのはSNSです。
求人媒体などを見なくても、彼らは毎日のようにSNSは見ているはずです。

若者たちは動画で情報収集しています

若者たちの心を動かすなら動画を使うべき

20代の平日メディア利用



総務省「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」
令和5年度(2023年)

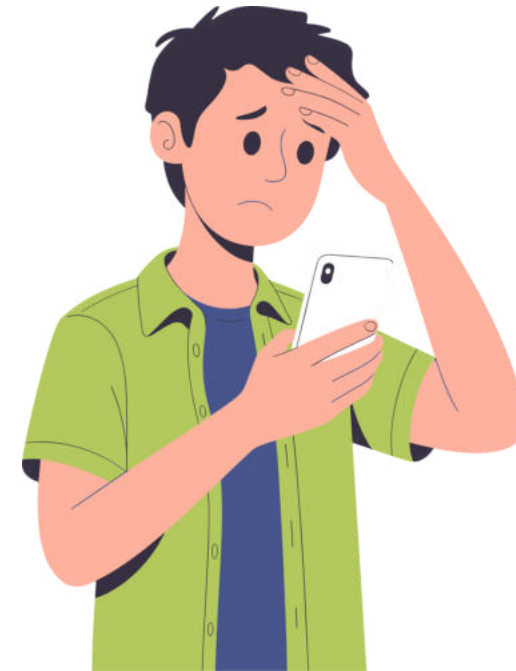
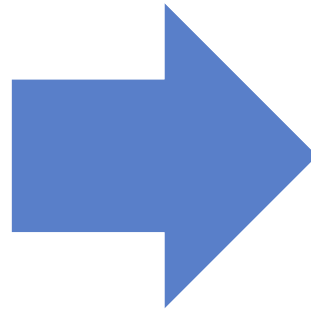
特にこの中でも動画ネイティブな若い世代には、文章のSNSより動画系のSNSが有効です。
つまりTikTokやInstagramリール、YouTubeなどなら、彼らと出逢える可能性があるのです。

何を発信すれば転職潜在層は振り向くのか？

会社側の伝えたいこと



求職者の知りたいこと



視点を相手側に移すことが大切

ただし、彼ら転職潜在層はアクティブではありません。
会社側の言いたいことを一方的に伝えるような発信では、彼らは興味を持ってくれません。

働き手の「知りたいこと」をどう調べるか？

ネット上から「働き手の本音」を収集する



それを分析すれば彼らの「不満」や「望み」がわかる

働いている人々が何を知りたがっているのか、調査する必要があります。
さいわいネット上には、SNSや転職系の口コミサイト、Q&Aサイトなどにたくさんの
「働き手の本音」が投稿されています。
それを分析すれば、彼らの「職場への不満」や「将来への望み」がわかるのです。

AIを使って働き手の本音进行分析する

リサーチ

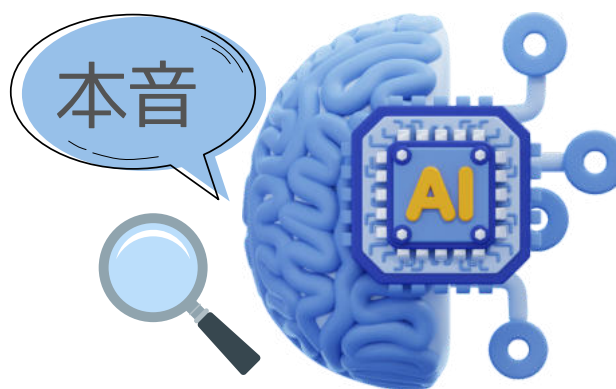
働き手の本音



ネット上から生の
声を多数収集

分析・立案

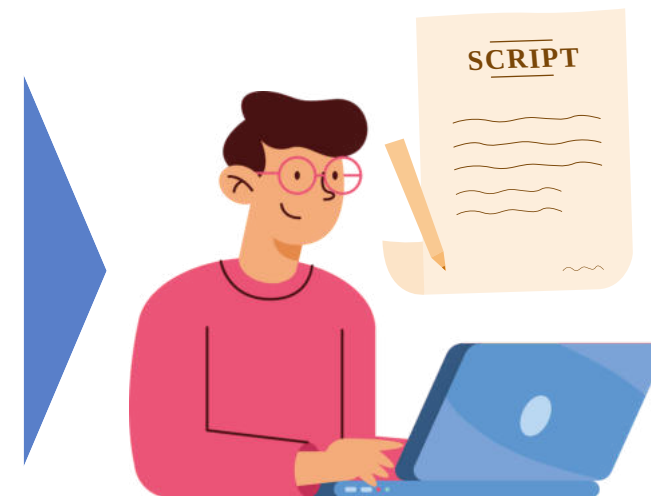
AIによる分析



本音データを分析
会社の魅力を構築

メッセージ設計

刺さる言葉を設計

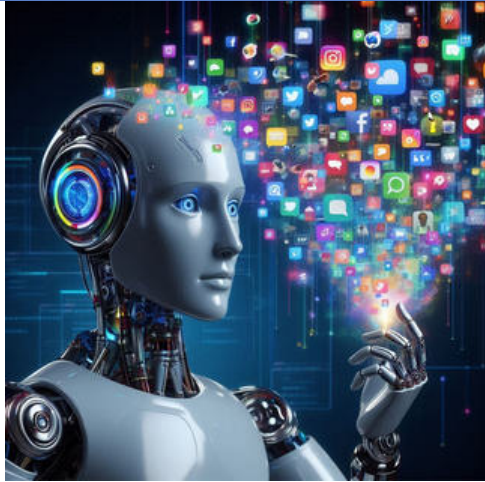


転職潜在層の心をつかむ
求人メッセージを作成

私は、AIを使って、ネット上から「働き手の本音」を収集して、それを分析することにしました。
このプロセスを経ることで、転職潜在層の心を動かすメッセージを作る、というノウハウを開発
することができました。

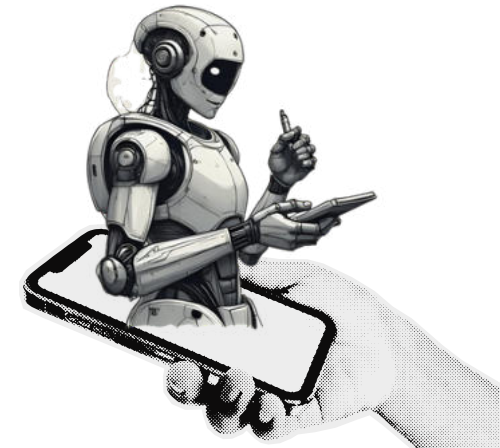
ホンネシル求人プランニング

ベーシックプラン



AIリサーチで本音を収集
AI分析で求職者の願いを抽出
心に刺さる求人メッセージ

プレミアムプラン

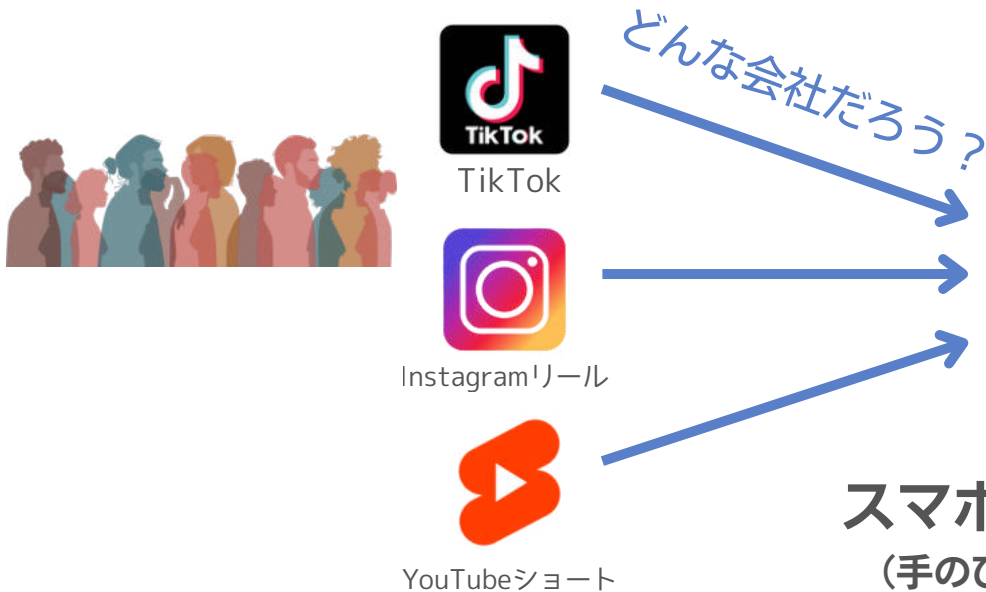


エモミルリサーチの
AIインタビューを
追加した精度向上版

ホンネシル求人プランニングのベーシックプランはAIのリサーチでネット上のさまざまな場所 SNSや転職系口コミサイトから本音を収集して分析します。
プレミアムプランでは、これに加えてAIが実際に対象者に深堀リインタビューする、エモミルリサーチ（他社開発サービス）を追加して精度を向上させています。

タテミル求人システム

第1段階



第2段階

話を聞いてみよう

第3段階

採用専用LINE
公式アカウント

3ステップで、会社に興味を持ってもらい
入社につなげる

動画SNS(広告)

タテミル求人システムは動画SNSを使った求人支援サービスですが、3段階になっています。

第1段階は動画SNS上で広告を出して、会社への興味をもってもらいます。

第2段階は自社の動画サイトに来てもらって、そこで会社の雰囲気や仕事の内容を動画で見てもらい、働く気を起こしてもらいます。

第3段階では、人材専用のLINE公式アカウントに登録してもらうのです。

動画SNS広告で会社に興味を持ってもらう

第1段階



広告ならば狙ったターゲットに確実に届く

タテミル求人システムの第1段階は動画SNSです。

普通の投稿ですと、時間もかかりますし、動画を数多く制作せねばならず大変です。

そこで、SNS広告を活用します。広告であればターゲットを絞って的確に動画を届けることができます。

スワイプ型自社サイトで働く気を起こしてもらおう

第2段階

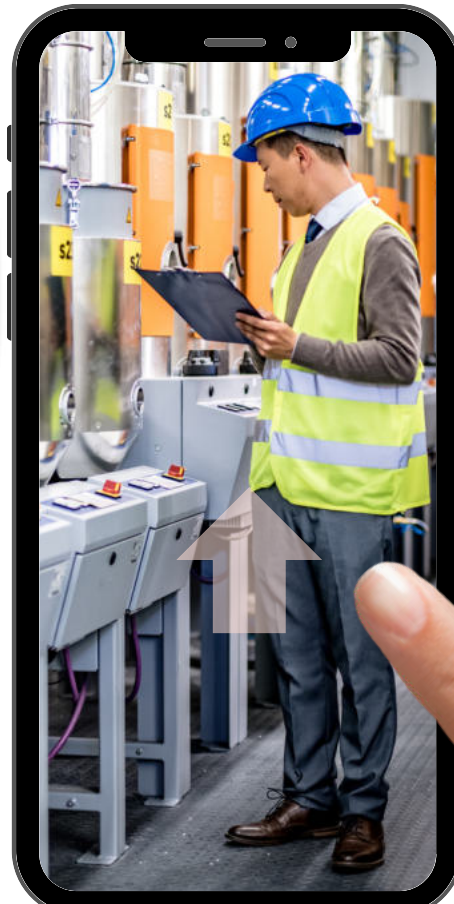
【スマホ専用】

できるだけ
フル画面に
近いかたちで
縦長動画を表示



話を聞いてみる

「話を聞いてみる」
ボタンでLINEへ誘導



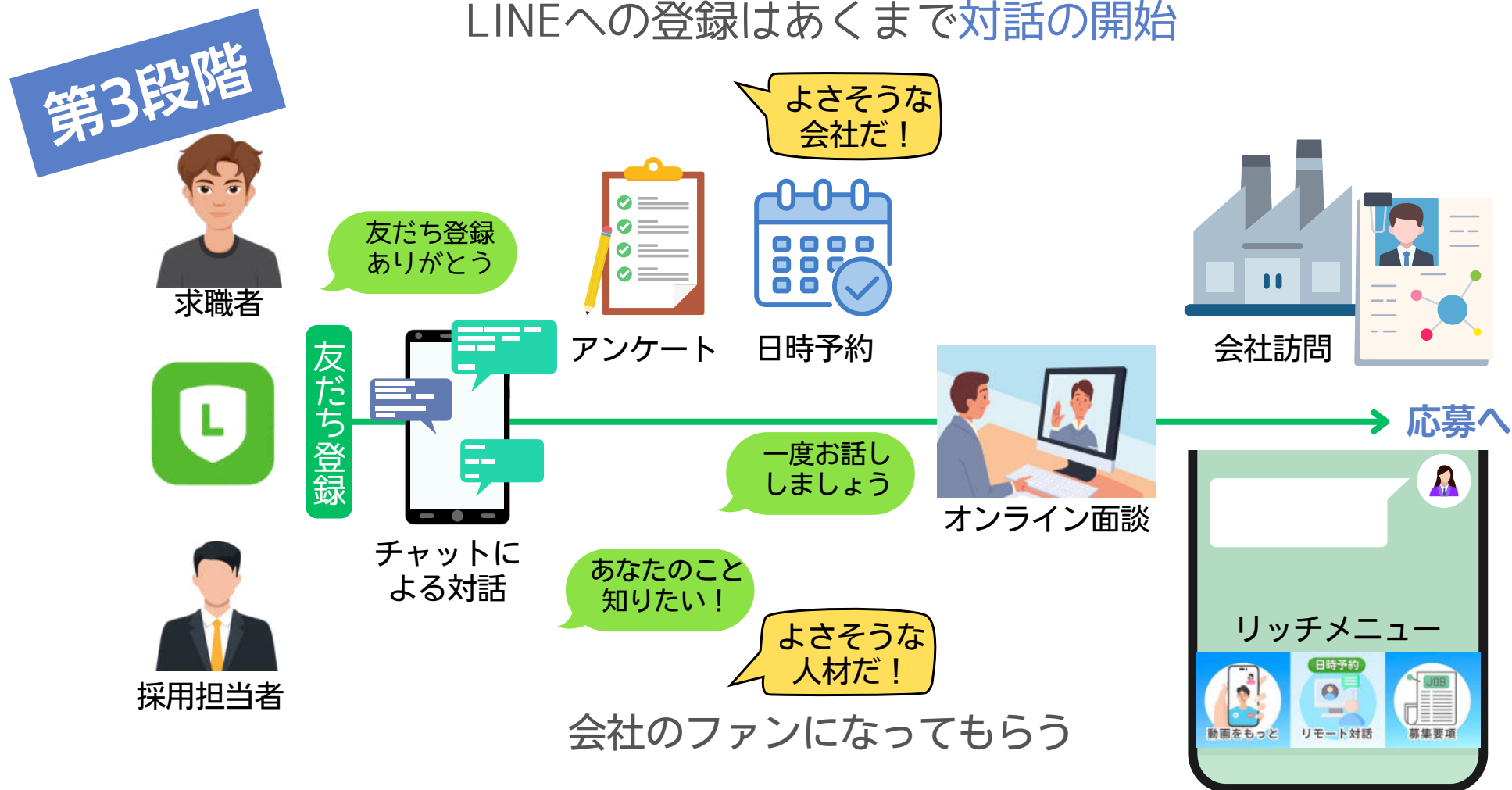
仕事風景や
インタビューなど
すべて縦長動画で
再生する

指先でスワイプ
する動きで
画面が切り替わり
動画が自動再生

第2段階は自社の求人サイトですが、スマホ専用のスワイプLPといわれるものです。これはTikTokなどと同様に、指先でスワイプする動きで操作するサイトです。ここでも縦長の動画を使い、仕事風景やインタビューなどを見てもらいます。動画を見ていると「話を聞いてみる」というボタンが表示され、LINE公式アカウントへと誘導します。

LINEのチャットで距離を詰めていく

LINEへの登録はあくまで対話の開始



第3段階はLINE公式アカウントです。友だち登録は、即求人への応募ではありません。
会社と直接対話するチャンネルを開く、ためです。
LINEのチャットで対話しながら、距離を詰めていきます。
オンライン面談や会社訪問へと促すことによって、自然と入社へと導いていきます。

くわしくはリモートで説明いたします

無料で「会社の魅力発掘セッション」を行っています



私の公式サイトです



<https://maekawa.com/>

こちらのボタンでご都合の良い日時をカレンダーから予約していただくことができます

公式サイト上のご説明もご覧ください